滿州日報

…價格五冊四百文至五冊…
…共上等三十餘種
…共來七十餘種
元直六冊九百至六冊八百

一 洗石鹼 二打入 同三圓三十錢
一 同 二十本入 同一圓七十錢
一 袋眞綿 六枚入百袋 同一百三十圓
一 改良半紙 一〆 價三圓
關東公司

一 紙チール仙人印 一箱 同一百十三圓
一 白味噌 正五貫入一樽 同二圓八十錢
一 同赤 正十八貫入一樽 同八圓五十錢
一 堅パン 七貫入一函 同九圓
矢野洋行

一 女手袋 打 同八圓より十五圓迄
一 メリヤス手袋 打 同三圓より六圓迄
一 小供手袋 打 同一圓五十錢より五圓迄
一 女シャツ 打 同六圓八十錢より十圓位迄
一 小供シャツ上下 打 同九圓位より廿圓位迄

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料
一ヶ月以上 一ヶ月以內 銀十五仙乃至十仙
一長期連揭減價面議
發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

○報價
每月收取入角代賣所及遣派人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

賣捌並廣告取次所

大連市磐城町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤陽城四樂九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遠倶町十 谷口今朝太郎

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す
月 日 營口軍政署

廣告

工事材料購買入札
第一號
一 杉丸太 長七間ヨリ三間半迄取合 貳千百本
第二號
一 條石 延長 四千五百丈
第三號
一 砂 一千立坪
右每号入札ニ付ス入札希望者ハ當署土木係ニ就キ契約書案熟覽ノ上來ル三月十五日午前十一時入札保證金各自見積代金拾分ノ一以上相添ヘ入札書差出スヘシ
但即時開札ス
此契約ハ營口軍政官與倉喜平擔任ス
明治三十九年二月二十六日
營口軍政署

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話十番 支配人室
百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

三井洋行

火柴 [illegible] 本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布 各商光顧請認明三井洋行名號遠近如蒙 [illegible]
●精製白砂糖新入荷物あり
倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上游り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八番)

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽己傳播於滿洲各地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲繡布火柴絲布衣帶藏布手巾花巾東洋緞子洋緞雜貨食物俱全所價值尤格外從廉且貴客賜顧時易款有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請驗是幸
運輸部
運載特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此號以李吉甫田彭超等之華人敏活細心以責任欲賜事與本業賜顧幸甚
[illegible]司理人田中粿之助謹白 電話 東店一五 西店一八三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋貨雜貨兼行代客[illegible]買賣地方寬大凡[illegible]宜營口[illegible]及存[illegible]貨物[illegible] 貴客賜顧請到小號面議是荷
號司理人 業亮卿謹白

東永茂

[illegible]事及[illegible]行與本店[illegible]之正[illegible]玉田 副[illegible]

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料[illegible]凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各輪火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并易設保爐包管鮮鍋以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

[illegible]坊買賣元豐油豐餅雜色糧石以及代客[illegible]雜貨布疋一[illegible]行[illegible]沙[illegible]船[illegible]南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

代代紫烟公司

本行專售 日本官造紙烟 [illegible]百合花牌(利利)均巴路名內外[illegible]上等烟料加工精製雙仙鶴牌(臘樹末)[illegible]凡諸珠欲購可向本行或[illegible]本行公司代理店面營口大德元探買無不致誤此佈告

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生
本學院肆業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

一 關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鉄道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一 海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一 船舶貨物取扱
一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、襪袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口殺定門外羅大阪九三種精選東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面聞是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輸送到各種木料品質精良久已馳名國遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克巳凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不惧再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧局急之需謹本主人啓

●雜貨卸小賣商
●菓子製造販賣商 附日用食料品
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業
新民府孫家街
東洋號

電氣諸機械

大販賣
本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部
(電一五四番)
主任 朱牟田寅吉

工
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一 北海道產松大角材外種々
一 石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一 日本石炭數種
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

東京電報

●**英皇族の歌舞伎觀劇**　コンノート親王殿下昨夜歌舞伎座に於て演劇を御觀覽あらせらる澁澤男爵の歡迎の辭に對し殿下には日英相互の友誼日を逐ふて一層根基を固ふせんことを信ずとの令旨あり極めて御滿悅に在らせらる

●**偕行社の奉天紀念會**　偕行社に於ては三月十日奉天戰役紀念會を催すことに決定せり

●**東京の地震**　東京にて昨朝地震あり頗る强烈なり

●**郵船の天津初航船**　郵船會社の太沽初航船は二月二十四日に出帆せり

●**露國代理公使の照會**　東京露國代理公使より在長崎佛國領事へ左の紹介を爲せり

次の條件を具備せる露國人は滿洲の一部及び大連旅順に渡航し遺留財産を處分することを得航渡者は日本陸軍大臣の許可を受け出發の日時と遺留財産の數其性質及び所在地を具申し從者三人迄を連れ共同者は其總代人よりせしむることを得到着の上は關東總督の命を奉ず

●**吉林將軍の派員**　吉林將軍達桂氏は淸露談判に資する爲め富順道臺を上京せしめたり

●**淸國政府の訓令**　淸國政府は各省巡撫に責任を持ち排外運動を防止すべきことを訓令せり

(以上二月二十五日發電)

倫敦電報

●**加奈太の饑饉救濟**　英領加奈太政府は日本に於ける饑饉地方救濟の爲め五万圓の麥粉を購入せり

●**大藏尙書と砂糖稅**　大藏尙書アスクイス氏曰く現狀に依れば砂糖稅を免除し得べき望みなしと

(以上二月二十三日發電)

●**モロッコ會議狀況依然**　アルジエシラスに於けるモロッコ會議の狀況は變化する所なし

●**佛國の大艦製造**　佛國政府は一万八千噸の戰艦三隻を建造すべし

●**佛國の勞働者養老案**　佛國衆議院は勞働者養老案を通過せり

●**ダーバンの動員令**　ダーバンに於て五百の軍隊及び砲兵一中隊に動員を命ぜられ東北方四十哩の地に向つて進軍中なり他の軍隊も亦た召集されたり

●**ウイッテ伯と募債**　露國首相ウイッテ伯の機關たる一新聞の云ふ所に據れば非常支出に對して五億萬圓乃至七億萬圓の內債を募集すべき必要あり若し今日內債を募集すること能はざれば止むを得ず不利なる條件を以て外債に依らざるべからずと

●**佛國首相とモロッコ問題**　佛國首相ルービエー氏はモロッコ問題に關し議會に於て言明して曰く佛國は平和を希望するものなり然れども其平和たるや佛國の利權と威嚴とを全ふし得べきものならざるべからずと

●**モンロー主義と陸軍の必要**　米國陸軍卿はモンロー主義維持の爲めに完全なる陸軍設置の必要を主張せり

●**英國海軍省の船渠修築**　英國海軍省は前當局者の設計を採用し二千萬圓を投じてポーツマス船渠を修築し最大軍艦ドレッドノート形のものをして出入自由ならしむることに決定せり

(以上二月二十四日發電)

●**北米の火山再び活動す**　紐育發の報導に據ればモントペレフ及びスーフリエルの兩火山は再び活氣を示しウインドワード島に於ては數年來未だ曾て有らざりし程の强烈なる地震ありマーテニックの市民は恐慌の中に在り

●**淸國視察員英京着**　淸國視察委員の一行は倫敦に到着せり

●**獨國議會と米獨關稅**　獨國議會は米獨通商條約締結の事不成功に終りしを以て向ふ一年間最惠國條款の待遇を米國に與ふることに一致し以て關稅戰爭を避くることゝせり

(以上二月二十五日發)

雜報

●**昌圖近狀**　最近歸客の談中其の要點を左に摘錄すべし

▲邦人數　昌圖は宛も新民府の如く城廓の以て四方を圍繞する者は非ずと雖も、其の繁榮は優然海城等の上位に在りて邦人の注目す可き一市城とす現在居住せる邦人は守備隊の一個中隊を除く外は僅に昌圖公司に於ける數名位のみにて視察者を合算するも普通商人は拾名を過ぎじ尙は昌圖公司の者等を除けは今日に於て總督府より昌圖の居住營業を許可せられ居るは一二名也、

▲停車場　停車場は市街を距つる日本里程三里余の所に在り、終列車の昌圖に到着するは實に午後十時なれば到底其夜を以て市街に行く能はず何れも其夜は停車場附近の支那人の旅館に宿泊するの例也

▲旅人宿　今日の所にては旅館は支那の旅人宿の外日本旅館は一軒も非ず而して支那旅館は停車場附近丈けにても合計十八軒あり一泊の宿泊料は七十錢にて邦人の宿泊は日々二三人のみなるも、土人の宿泊する者は總体を通算すれば每日三百人乃至五百人に達すと云ふ料理其他凡て日本人に對しても全然支那式也

▲馬車賃　停車場より市街迄三里の馬車賃は二圓也、馬車の外に輕便レールあり昌圖公司の受負ふて運轉を營む者、市街迄一人の賃錢は五十錢なるも其車は四人乘りなれは若し乘客の四人に充つを待つ能はず一人の儘發車せしめんとせば四人賃即ち二圓を拂はさる可らず

▲昌圖公司　昌圖公司は資本を支那人に仰ぎ以前の通譯等か營業せる者なりと聞く、今日の業務は輕便鐵道の運轉併に苦力の取扱ひ位なるも行くくは蒙古貿易を營む計畫なりと云ふ、幸に成功せは單に昌圖公司の幸福に止らず尙は仝公司の場所は停車場に在り

▲雜貨其他　日本人向き雜貨品は市街の店頭殆んど觀るなし、蓋し今日は邦人と云へは守備兵位の者なれは輸入して販賣するも格別の利益無きか爲ならん　候は酷烈にして到底營口等の比較に非ず

▲以北交通　昌圖を北に距る日本里程約一里强にして雙沙河子と云ふ所あり、此所に所謂日露兩軍の通信所あり兩軍互に委員を派出して通信を取り換ふ、若し日本人にして以北に進入せる者あれは露兵之を通信所に携へて日本軍の委員に渡し露國人にして南下せる者も亦た同樣の手續を以て露國委員の手に渡しつゝあり

▲後送頻々　近頃露兵に後送せられ通信所にて吾軍の委員に受け取るゝ日本商人頻々として之れあり、近くは本月十日に於ても五人の商人に其の後送を受けて吾軍に引渡されたり聞く所に依れは此の五名は鐵嶺より馬車三臺に荷物を滿載し大に道を迂回して長春に出て一月の中頃に於て既に同地に於て開店營業せし者なりとか其前にも宛も此種の商人後送せられて到着せりと云ふ近頃に於て露國か斯の如く嚴重に後送を實行せる者は一は物資の稍々潤澤となりたると一は吾軍の嚴重に引渡を實行して違はさるに赤面したる爲ならん

●**北淸事變以前の營口**　(承前)

▲風說頻々　當時既に土人間に於ては日露開戰の風說頻々として喧傳せられ、一般に遠からざる將來に於て兩國は必然、開戰すへしと信じたりし者の如し而して露國自身に於ても亦た斯の如く想像せしは之を邦人の嚴重なる人員調査に徵しても疑無き也、蓋し露國の根底未だ滿洲に確實ならざるに於て開戰を觀たるは大に日本の利益なりしと觀せざるを得ず若し尙ほ數年を遲れたらんか其結果や想像すべからざりし也

▲露停車場　當時露國は東淸鐵道支線の營口停車場は今の我か東肥洋行の裏手附近に設置せん意向なりしなり、然かも、遂に今の牛家屯に設置するに及びたる者は吾々日本人併に英國人の抗議妨害に原因すると觀るを以て當を得たりとせんか當時吾々を始め牛家屯に停車場を移さしめんと企てたるは夫の遼河の(營口と牛家屯の中間の)瓢簞形の個所を掘割以て船舶の迂回を妨ぎ露國に對し聊か酬ひ一所あらんと期したるか爲のみ今日之を思へは寧ろ失策にて在りたり

▲同胞點檢　前述する如く露國は嚴に占領後も吾々同胞の商業に對しては別に妨害を加ふるなとの事は之れ非らしも時々、巡捕の如き下走りの土人を使役して在住同胞の家々に付き嚴重に其人數を調査せり、現に我か東肥洋行等にも度々、巡捕の訪問ありたるも、家內の人員は領事館に屆出て居れり强て其れを知らんとせは宜敷、帝國領事館に行て之を聞けと其の度每に詰責して遂ひ歸しつゝありたり

▲同胞新入　營口に於て吾同胞の增加せしは露國の占領以後なるか其動機は浦鹽に於ける露國の輸入稅の俄に騰貴したるに在り即ち輸入稅の暴騰の結果、從來同港に於て營業せし我か商人は大に打擊を蒙ると共に何れも、將來を悲觀するに至り結果踵を接して旅大に轉住を企てたり、新入の同胞は概ね此の轉住者の更に轉住せし者に係る、而して尙ほ他に一團の新入組は西比利亞鐵道に依り齊々哈爾寬城等より南下せし者等也

▲露語淸語　露國の營口占領以前より營口に在りたる同胞は淸語は概ね之を解するも、露語は少しも之を知らす之に反して露軍の占領後、營口に入來せし同胞は露語は凡て之を解するも淸語は概ね之を知らす於是等數同胞なりと雖も其間に一種妙なる思想蟠り居りたる如く觀せられたり復た之れ人情の自然と謂ふべきか

▲露語傳播　占領後は露國の勢力盛となりたれは露語は宛も今日の日語の如く市內一般に傳播し日用の露語は土人中復た殆んど知らさる者無きの盛觀を呈せり今や營口は日本の勢力頗る盛大なれは土人も殆んど露語を用ゆるの必要も無く默して語らされは知れすと雖も彼等は露語に就ては皆相應の智識を有する也知らす市內再び露語の喋々を觀るの日は夫れ何の時ぞ

▲國旗强要　露國の祭日は驚くべき程多く每月平均三回位は必ず之れあるか其祭日は露國の官憲は土人一般に露國、國旗の樹立を强要し若し、聞かざるあれは容赦なく之を處分したり、故に後に於ては復た反する者無く何れも皆な露旗を軒頭高く揭けて以て表面上の敬意を表するに至れり

▲取組取組　日本人と露國人との取組は珍しからす始終各所に於て演せられたるか日本人の敗を取りたるは餘り之れ非りし如し、或時の如きは二三人の露兵亂醉の儘日本倶樂部に突入し會々來合し居りたる川崎大尉と大に取組を演し歸途窓硝子を破壞したるなどもありき其の起りは露兵か、玉突を求めたるに對し大尉か日本人に非れは借す譯に行かすと拒みて應せりさりしに基きたる也當時は居留民は今日の如く多數ならさりしも其の元氣は一般に中々盛なりき(完)

●**芝罘短信**　最近の調査に依れば芝罘に於ける人口の總數は約五万人にて就中西洋人二百人日本人五百五六十人あり、市中の光景は昨今甚た寂寞なり、從て商況も萎靡として頗る振はず▲料理屋は今日の所に於ては僅に二軒に過ぎさるも出入の客人至て少く樓主は頭痛の體に見ゆ昨今旅館に宿泊せる者には浦鹽行を目的とする者最も多く而して就中更に多きは娼人なりと云ふ其筋の調査に依れば宿泊客の總數は每日平均一百人に下らさるへしとか▲市中に流通する貨幣はメキシコ弗最も多し軍票は僅に邦人間に於て受授せらるのみ、而してメキシコ弗と軍票との差額は目下軍票騰貴の爲めに甚た接近して一圓に對し五錢の相違あるに過ぎず更に金票は芝罘に於ては軍票の下位に在り目下九十四五錢の間を往來せり▲昨今の氣候は甚た溫暖に向ひ春めき來れる樣なり

●**大津片信**　結氷の爲に船舶の出入絕へて之れ無きに所謂仕事師を以て呼ばるる者等は今や概ね營口に遼陽に奉天に鐵嶺に去って天津に在らざれば市內、何處も、寂々寥々也、唯た氣候は昨今日々溫暖に向ひつゝあり、最近營口歸客の談に依れば時に依りては外套一枚も違ふ如く覺へらる云々少くも營口の寒氣に比較すれば七八度以上は溫暖なりと推察せらる

●**實業聯合の少集會**　日淸實業協會の日本人側委員一昨日午後五時頃より正金銀行樓上に集合し過爐銀問題に付て相談する所ありしが九時頃に至りて散會せり因に當夜は瀨川領事も出席し仝問題に對する其の所信を述へたりとなり

新作小說　**おとし胤**　作者　德田秋聲

故紅葉門下四才子を出す曰く秋聲曰く鏡花曰く風葉曰く春葉而して秋聲最も蘊蓄の富贍を以て稱せらる其曾て萬朝紙上載する所の少華族の如き之を本鄕座の演劇に仕組みて滿都好劇家の喝采を博し盛名一時に籍甚す此新作小說『おとし胤』は即ち本紙の爲め特に起稿を諾せるもの則ち來る三月一日より續揭し以て江湖の閱讀を請はんとす今よりして後願くば才人の健筆によりて無味乾燥なる我紙上を粉飾することを得んか敢て豫告す

●**輿倉司令長官の到着**　輿倉司令長官は昨日無事に東京に到着せし旨軍政署に電報ありたりと

●**奧田副領事の來營**　天津の奧田副領事は一昨日來營昨日旅順に向け出發せり

投書かご

▲私はアノ琴を少しお稽古致したいと思ひますが誰れ樣でも一緒にお稽古なすつて下さる御方はありませんか永らく罷めて居るものですから忘れる許りでもあるし氣晴しの爲にも爲りますので是非に御一緒に願ひたいものです私からも時々は御伺ひも致しますがお遊びに來て下さらば最も仕合でございます(一婦人、姓名在社)▲先日の慈善演藝會には西洋人が淨瑠璃を一時間も聞かされたのにや閉口して居たよ併し尺八丈けは耳に這入つたと見えて餘程感に打たれて謹聽して居たやうであつた一本の洞竹能く沈痛の音を生ずと尺八の如きは恐らくは日本以外外國に見るとの出來ざる樂器であらう(入場生)▲昨日領事館前の消火粉試驗はどういふ結果でありましたか私は少し後くれて行つたのでもう領事館前には誰れも人が居なかつた果して効力のあるものならば自分も用意して置きたいものである(或家持)▲營口の女流には馬賊のやうな男優りの豐殼豪傑が居る早く退治をせん事にや吃度後世恐るべしに爲る(高襟番頭)

●**玉突競技會の光景**　既報の如く養氣亭玉突競技會は去る廿四五の兩日を以て擧行せり今其概略を揭載せんに昨年我軍の營口占領後は邦人續々渡來せし爲め從て總ての遊戲場も諸處に續出し玉突場の如きは東雲、第二營口、平安組、養氣亭、日本人會、其他正金三井等個人の玉突場を計算すれは實に十指を以て數ふるも尙餘りある盛況なりしが其後市中不景氣の影響を受け遼陽奉天其他各開放地に持ち去りし爲め昨今公衆の娛樂場としては僅に養氣亭一軒あるのみにて自然人氣も同亭に集り當競技會の如きは近來未曾有の盛況にして斯道の天狗連即ち營口のチャンピヨンとも云ふべき山中、長崎、岡田、鳶、加茂氏等以下三十餘名の勇士互に黑白を競ひ就中長崎、正田、相部、吉田、船津氏等の如きは四人迄打倒し今や天下分け目の關ヶ原とも云ふべき一段となり無慘强敵の爲めに敗北し其他の勇士我こそ月桂冠の名譽を荷はんと互に入り替り立替り混戰の結果岡田(一七〇)山中(二一〇)山田(九〇)鳶(一五〇)の諸氏苦戰して五人拔の榮譽を双肩に荷ひ所謂月桂冠の候補者として互に決戰の結果末鳶氏非常の勇氣を以て猛進し今や當日の月桂冠即ち第一等賞は鳶氏に歸せんとする一刹那僅に二個を殘して失敗し片山氏殘り三十一個を一とキューに退らげ無雜作に第一等賞(トランク價三十圓)を得たるは滿塲數十の見物人夢かと計りに只呆然たり一隅より天晴〳〵と叫びし人あり左もあるべし次に二等賞鳶、三等賞山中、四等賞岡田、五等賞山田の諸氏にして當日の終結を告げたるは明くる午前二時頃なりき因に來月より每月一回つゝ例會を催すと云ふ營口の如き腐敗天地にかゝる高尙なる遊戲は實に吾人も歡迎する所なり

△△△△

●**たらめ草**　昔しの俳諧師は十德といふものを着たものである前から見れば『ころも』の如く後から見れば羽織の如く五德五德で十德といふ名が付いてゐる▲營口にもそれと同じ筆法で近頃十德髷といふとヨンナ髷が流行り出して否飛び出して來た前から見れば廂髮の如く後から見れば元祿髷の如く五德五德で十德髷である▲元來廂髮といふは日本人には極めて不適當な髮である唯さへおデコのお孃さんが一層おデコに見えるのは可笑しいぢや無いかそれに頭の頂邊に持つて行つて櫓の如き元祿髷を据ゑ付けるに至つては奇觀も此に至つて極矣と謂ふべしぢや▲或通者の言に依ると西洋婦人に廂髮の似合ふのは始終帽子を被つて居るからであるそれを日本人は髷許りを眞似て帽子を被らないから可笑しくも爲り勢ひ櫓のやうな物でも据ゑ付ねばならぬ事に爲るのであるとの事、ある一說である▲或嚴めしき人曰く藝者の島田は古往今來千篇一律でチツトも進步しない藝者は不進步的動物であると併し今の藝者が悉く十德髷でも結び出したらそれこそ百鬼夜行であるマア〳〵退步的で無い丈けでもが取り所であらう(△△坊)

汽車

▲上行車時刻表

車站名	午前點分	到午點分
新民屯	上 六、〇〇	上 九、五七
至 營口	上 八、二〇	下 六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京	上 八、〇〇	下 六、二〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇

驛名	發着	時刻
遼陽	着午後	三、五〇
大石橋	着	一〇、三二
金州	着翌前	二、二〇
	發	四、五五
	發	一一、三五
	發	三、一〇

大連旅順上り列車

旅順　發午後　一二、〇三

大連　着　五、三二

營口線下り列車

天氣　營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

社告

東北凶作地窮民救恤義捐金募集

一、義捐金額は一人拾錢以上とす
一、受付期限は二月二十八日迄とす
一、義捐金は直に本社に送附せられたし
一、本社が受付たる義捐金は毎日正金銀行に保管預入を爲すべし
一、期限後は之を一纒めとし東北三縣救恤會に送附し其配分方を托すべし
一、義捐者人名は本紙廣告欄に掲載し受領證に代ふ

明治三十九年二月七日

滿洲日報社

雜報

●錢票流通に就きての私議

在遼陽　戸水汪

我の一たび露國と釁を啓き、滿洲の野に兵を搆ふるや、連戰連捷に因りて帝國は多大の信用を博め、其發行する流通軍票は、中外に欽揚せられ、殊に清人は渇仰して珠玉黄金も啻ならさるに至る

今や平和克復に際して、爾かへ多大の信用ある流通軍票も、漸次回収せられ、日ならすして正金銀行一覽拂手形と交換せらるへし、是れ又帝國銀行の發行なれは、彼の流通軍票と更に輊するなし然り而して平和克復以后は、軍需として、清人に放下する金額少く、却て清人より融通するの多大なるに至らんか、素より少許の一覽拂手形を流通せらるゝも、是等は清商の信用を措く深き多く上海等其他地方にある貸主の手裡に歸し、遂に我等は其形迹たも見る能はさるに至らん、踵て來る金融市場の媒介物は、惟た一の錢票あるのみ

滿洲發展に於て、將來清人と取引する媒介物は多大の信用ある流通軍票は回収せらる、正銀一覽手形は市場多く迹を止めす、金融界唯一の媒介物は錢票あるのみ、而して其錢票たる錢舖の發行のみにあらす、當舖（質商）燒鍋（酒製造業者）油房（豆油製造業者）粮房（雜穀商）等各自勝手に發行するものなれは、之に附隨する弊竇、一にして足らす、試みに列擧せんに

一、錢票は少資本家の發行なれは、信用を措くに足らず
二、錢票は、基金準備必すへからす、兌換の性質を具備するや疑はし
三、錢票は、一地方に流通するも、他の地劃に出つれは、反古紙の如し
四、錢票は、時々刻々に因りて、相場に變動あり、又た發行者の信否如何に因りて、相場に高低ありて、畫一ならず
五、特に遼票（遼陽の錢票）は、他地方と異なり其種類多く（一吊より十吊迄、十五吊より二十吊、二十五吊、三十吊、三十五吊の十五種）繁褥を極む
六、錢票は僞造多く、眞贋を鑑別するに苦む
七、錢票の紙質軟弱にして保存に難く、損壞の恙なり
八、錢票は、發行者の信用、不確實なれは引換に難く、從て轉々融通するに障礙あり

（參考）本月六日頃に李某の主宰せる錢舖、義源盛、震記棧、天義當の三舖は、自家の發行する錢票に不信用を來たし、將さに破產せんとし、又た燒鍋行の德陞海も、同樣の悲運に陷れり

以上八箇の瑕瑾は、錢票を不確實ならしめ、因て以て、日清間の取引媒介物とならんとする危殆謂ふへからす、斯くの如くして、日清貿易の旺盛を謀り、滿洲發展の籌謀を建てんとするは、木に緣りて魚を求むるよりも、遙かに遠し矣、平和克復の後に於て、日清人相互の取引に、爾かく不便を見る、之を匡正するは、將さに焦眉の急あるへし、憶ふに當路者夙に成竹のあらん而して余輩爰に私見を縷述する故なくんはあらず、豈啻に杞人の天を憂ふるのみならんや、今夫れ日清人間の商取引に於て、錢票の不確實に鬼胎危惧を惹き、之を擲却して一切取引せされは止む、而も兩國人間に溝渠を作り、彼我を疏通する能はすんは、日清貿易何に憑りてか資せん、滿洲發展歷に因りて成らん、若し匡正するなくんは、所謂羮に懲りて膾を吹くの類にして、惟た夫れ杞梓連抱の材は、尺寸の朽瘢を棄てすと、暫く一家の私見を立つ、請ふ前箸を假らん

第一法　日清銀行を設立す、臺灣銀行、拓植銀行の定欵方法に則り、彼の露清銀行の手段に倣ひ、日清兩國人の資本株を募り、兌換券を發行す（斯議は、政府當局者夙に神算のあるあり、余輩敢て橫議せす）

第二法　奉天將軍官憲の下に、確實なる資產家を糾合し、基金準備に因りて、兌換性質の流通錢票を作り、奉天に本局を置き、遼陽、海城、蓋平、大連、營口等の商業繁盛なる地方に支店若くは出張所を寘きて、錢票の交換をなさしむへし、以て流通の畫一を謀る

第三法　遼陽知州の首唱に係る、遼陽公立銀行章程に基き、我か總督府監督の下に一定の錢票を發行す、而して正金銀行の連絡を保たしむへし

（參考）遼陽公立銀行章程

一、本行は商務を振起し、市場の融通を計るを以て主旨とす
一、本行は資本金第一回分は已に本城十一行商より東錢百二十萬吊を募集し爾後經續增資の充實あるを俟て營口奉天に支店を開設し商務の流通を計らん
一、本行は暫く錢票を發行し各行商の錢票と互に相融通し錢法の稍々整頓するを俟て改良せん
一、本行の貸出金は確實なる保證人を要す一年を以て長期となし一年以下を以て短期となし月數に拘らす利息は面談の上之を定む但し官吏又は紳士には決して貸出をなさゝるものとす
一、木行預金利息は銀五百兩以上一箇年五分半年は二分五厘三箇月は一分とし銀五千兩以上は別に利息の割合を面談の上之を定む
一、本行事務員の出資に係る勞力資本は其責任の輕重に應し利率の多少を定む
一、本行所得の利益は一箇年の經費及び賞與金を控除したる後之を十分の二を以て地方公共費に二分を保險積立金とし其餘を各資本主に分配し現金資本主（錢股）の收得する利益金は三箇年の後に支拂ひ勞力資本に屬する利益は毎年々末に仕拂ふものとす
一、本行帳簿は毎年々末の一回各資本主に呈示し其監視を受けて以て信用を明かにす
一、本行資本主事務員に分配すへき利益金は已に其年限を定めたれとも殊に勞力資本に對する利益金は年五分の利息を付し之を本行に預り置き各々養家の資に供せしめ濫に引出すことを得さらしむ
一、出資の各組合其組合內に廢業するものあるも其資本は毎組合內より割出すことを許さすして以て資本の强固を計る
一、毎日早朝本行は大組合の商家と集合し銀價の昂低を協議し公然の賣買をなし決して密に取引をなすを許さす以て金融の澁滯を拒き以て流弊を絕たん
一、本行は他人の保證をなすことを爲さゝるものとす
一、本行は空賣買をなさゝるものとす
一、本行は異率着實を旨とし淫華を去り積習を除き賭博阿片飲食等一切の嗜好を愼み名譽を重す
一、未た盡さゝる所あらは追て改良せん

第四法　日清協會の下に錢票交換所を組織し、同協會の日清兩國委員をして、之を取扱はさしめ、錢票の疏通を謀るへし、最も斯法に因るには、遼陽知州に責任を負担せしめ、我總督府の嚴格なる監督を要す（日清協會は今や組織中にあり、爰に案を具せす、公議會は遼陽に於て其弊に堪へすして解散せりと聞く）

但し第四法の組合には、別に商業與信所を組織して、各個人の信用程度を調査せしむ（與信所は余の曩に臺灣にある日當時の臺灣銀行頭取添田壽一氏の協贊を得て、特に日本與信所創設者外山修造氏を叩き、頗る其所蘊を盡したれは、別に案を具して陳叙する處あるへし）

惟た夫れ余の私議は、前述の四あるのみ當路者は宜しく其一を擇へ

由來、清國の政治は、官憲は民人を監督誘掖するなく、惟た稅斂を誅求し、苞苴を利得する事として、其他を知らす、若し夫れ我か督府の下に於て之を監督し、之を戒飾し、扶掖誘導すれは、德風の如く、仁雨の如く民人の之に向ひ、感孚恩賴する知るへきなり、是に於てか、日清兩國の和衷協同の實揚り、滿洲發展の經營成り彼の數萬の生靈を犧牲にし、十數億圓の高價を拂ひて、贏得たる滿洲振起の大策は、遂に打立つに庶幾らんか、芻蕘の言採るに取らざるも野人の献芹幸ひに一閲を請ふと云爾

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一金百圓	奉天岡村洋行	岡村銑介
一同三圓	營口綏定門街	川畑喜次郎
一同三十圓	同	黑澤禮吉
一同一圓	第八師團第九補助輪卒隊	三浦章儀
一同五十錢	同	三宅源次郎
一同五十錢	同	上山末次松
一同五十錢	同	小林與五郎
一同五十錢	同	狩野圓吉
一同五十錢	同	阿部三五郎
一同五十錢	同	藤原孫三郎
一同五十錢	同	工藤角太郎
一同二十錢	同	大竹政次郎
一同一圓十錢	第一臨東陸軍病院營口分院	佐伯熊太郎
一同一圓	同	中澤喜三郎
一同一圓	同	三木鼎
一同一圓	同	五島軍治
一同一圓	同	大塲哲清
一同一圓	同	笹原乙次郎
一同一圓	同	福島佐七
一同一圓	同	伊藤源治
一同五十錢	同	中村汰次郎
一同五十錢	同	加藤泰助
一同五十錢	同	金子兵五郎
一同五十錢	同	渡海美喜太郎
一同五十錢	同	齋藤彌助
一同三十錢	同	關喜太郎
一同十錢	同	中筋寅市
一同十錢	同	友川宇吉
一同十錢	同	清瀬卯吉
一同十錢	同	熊澤磯次郎
一同十五圓	營口	海仁洋行店員
一同二十圓	同二本町	鹽川商會

計百八十四圓
累計二千九百〇八圓廿五錢

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車　千參百輛
第二號　二輪荷馬車輓具　五百副
第三號　一人挽徒步車　三千輛

右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き（自午前十時至午後四時）閲覽品及入札心得書並に契約書等熟覽の上來る三月二十日（自午前十時至正午）入札書差出すへし但即時開札す
此入札保證金は各自見積代金百分の五以上
此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す

明治三十九年二月二十日
奉天停車塲南方約八百米突に在る（山西會館附近）
門司野戰兵器本廠奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開
第一號　双輪搬貨馬車　千三百輛
第二號　双輪搬貨馬車用車套　五百副
第三號　人力單拉車　三千輛
承買者均須將各自估價一百分之五先交作押

明治三十九年二月二十日
在奉天停車塲東南方淸里一里半（山西會館附近）
門司野戰兵器本廠奉天出張所

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街ブツシ商會東
川喜鐵工場

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應し正實と叮嚀を主とし勉强可仕尚構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究罷在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候
建築設計依頼に應ず
營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

高等旅館 彌生館

營口永世街
館主　宮下只七郎
（電四二）

旅館讓渡

新築　客室十五間
雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ
奉天小西邊門外拾間房　浮世館

營口
本店　彌生　電話四二番
支店　彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主宮下只七郎

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室內裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市塲前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需應にす

藝妓仲居　新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂　高砂ホテル（電話一四五）

右今般新着仕候間可成至急御申込願上候
消火器
英治洋行　營口北大街

會席料理　三日月

奉天日本旅館　瀋陽館
家屋宏壯淸潔　接待懇切
開業　奉天小西門外大街路北

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商
在元神廟街　營口
關東公司雜貨部

石材、碎石
並に自家製造　廉價販賣
瓦、煉瓦
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

菓子用藥品新荷着
醫藥賣藥醫療器械
重曹
硼砂
炭酸安母
ヲーラミン其他
東瀛大藥房
營口永世街

澤亀ハ醇良にして風味高尚

並ニ
札幌ビール
朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙草　朝日　大和
酢　醤油　瓶詰樽詰
菓子　罐詰　色々
洋酒類　取次販賣

釀造發賣元
本店　大阪府堺市九間町
宅合名會社
小樽支店　北海道小樽湊町
臺北支店　臺灣臺北街書院
基隆支店　臺灣基隆街石牌
臺南支店　臺灣臺南街下南河
函館出張店　北海道函館區辨天町
遼陽出張店　清國遼陽城內西街
大連出張店　清國大連監部
營口支店　清國牛莊港東營口

發賣
標子
木板
料木
營口青堆子
清水寧木局

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)
スペシャルライト賣出し
スペシャルライト、はビルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり
釀造元　大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣　關東公司雜貨部

滿洲大販賣所
營口（張松林邸內）池上出張店
遼陽停車場前　池上出張店
奉天　池上出張店

雜貨
醤油
木炭
すし米
清酒　大樽　半樽
營口西北街
阪神組

婦科專治靈藥
奏功如神仙
名聲掩四海
中將湯
大日本東京津村順天堂
大藥房處修
此藥專治婦科諸症如經血不調、子宮虛冷、白帶赤帶、胎前產後諸症、惡阻、呑酸、吐水諸症、經難產、流產、漏洩、不安諸症、經水不調、經其不順、或在鬱滯、産後諸痛諸症、經逆、經衰發起、火氣、手足腹痛、頭暈目眩諸症復治男女感冒風寒及疝瘕諸症、賊敵苦之妙藥濟世之至寶也
子宮病、血の道等婦人病一切の妙藥なり
總批發處大清國營口永世街（二本町）
藥司洋行
藥劑士　淺野大藥房
其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

大日本帝國醫科大學模範藥局御用特許
攝津灘石崎合資會社釀造
澤之鶴
醇良清酒
滿洲特約大販賣
裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種
清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番
和盛本支店所在地
仁川、木浦、
○支店韓國京城、
旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本日本長崎梅香崎
裕和盛は
滿商中日本通の張本
澤之鶴は
既に評定ある天葵錄

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ常の御引立に酬ひ度と思いますので此際更に大勉强をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加藥飯　御壹人前　金五拾錢
親子飯　仝　上
湯豆腐　一鍋壹　金貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御勘定（金貳圓）に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄

第壹等　銘酒澤亀　七樽
第貳等　仝　三樽
第參等　五匁附純金指環　壹個
第四等　二本　銀側懷中時計　（代價二拾圓）　壹個宛
第五等　三本　旅行用皮製カバン　（仝拾五圓）　壹個宛
第六等　四本　旅行用化粧道具　（仝拾圓）　壹個宛
第七等　五本　膝掛け　（仝八圓）　壹枚宛
第八等　六本　絹紬　（仝六圓）　壹反宛
第九等　七本　メリヤスシャツ　（仝五圓）上下　壹組宛
第十等　八本　卷烟草入　（仝貳圓）　壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

時刻

區間	發	着
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
天津至唐山	上一一、四二	下五、一七
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民	上三、〇〇	下六、五七

大[illegible]　遼陽發　一二、三七　奉天着午後　一二、〇六
上り列車　遼陽發　七、二〇　奉天着午前　一一、〇〇

大連旅順間[illegible]
驛名　大連發午前　七、三〇　旅順着　一〇、四九

營口[illegible]
上り列車　營口發午後　一二、二五　大石橋着翌午前　[illegible]、二〇

豫報

北又東の風晴れ

昨日の氣温　最高温度廿七度　最低温度十度八
昨年との比　低四度五　高低七度五

宮門抄

二十九日
理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引見　紹英等謝調授缺恩
榮公等前往口外賜奠請訓　王培佑等謝原品休致恩
良秦請假十日　侍衛處奏派口外賜奠　派出穆精額　景祿
召見軍機
內奏事處　傳奉　旨二月初一日初二日
坤寧宮吃肉着派　滿恭代行禮欽此
二月初一日
外務部　欽天監　侍衛處值日無引見　吏部呈進月官卷　奕
劻謝原品休致　恩　奏公假滿請　安
見召軍機　外務部遞封奏一件

上諭恭錄

二月初一日奉
上諭張曾敭奏叅縱歷賄縱管押官犯請旨懲辦一摺浙江辦匪委員已革和縣施榮鼎前因侵匿冒銷經該撫奏叅革職發交杭州府看管茲據奏稱署杭州府經歷羅人鑄貪賄放縱致令脫逃實屬罪無可逭羅人鑄業經斥革着發往軍台效力贖罪施榮鼎着江蘇巡撫及各省督撫一体查拿務獲解浙審辦以儆官邪另片奏杭州府知府宗培于施榮鼎一案意存玩視致令行賄脫逃等語既據該撫奏稱該員于職守所司概不經理酒食徵逐頗滋物議所請開缺以同知降補不足蔽辜宗培着即行革職該部知道欽此

奏議

駐藏大臣有奏巴塘克復請奬出力員弁摺

奏爲巴塘現已克復請將派赴要隘防堵在事出力員弁量予奬叙恭摺籲懇 天恩仰祈 聖鑒事竊査本年三月間巴塘番匪聚衆滋事戕官作亂一案奴才先接四川督臣錫良電稱請飭嚴防曉諭藏番毋聽謠煽復承准外務部電稱藏中關係緊要應即審度事機妥爲安撫各等因前來奴才當經督飭委員傳集噶布倫等曉諭藏番令其速飭藏屬地方營官嚴禁勾結並防範擾復又添派委員帶領兵丁馳赴察木多乍了江卡及接壤之作岡桑昂要隘會同各該處汎弁番官酌調番兵不事聲張密爲堵禦會將辦理情形電請外務部代奏並繕摺陳明在案奴才伏查巴塘地險人强愚頑難化不圖豺虎性成大肆鴟張胆敢蓄謀造亂戕害使臣及隨從員弁人等焚燬教堂殺斃教士巳屬窮兇極惡迨至大軍臨境尚敢負嵎自固絕無悔罪之心而又抗拒官兵守險逆戰跡其情事叛逆實同幸經提臣馬維騏等統兵進剿聲罪致討殲除兇悪邊亂戡平從此 天威遠播不獨川屬番部震懾畏服即附近三岩野番亦深知儆懼矣當亂起之初該處土司堪布意在聯合各部番族謠煽夷衆奴才深慮勾結爲患於藏地所關甚大遂傳噶布倫丹池巴剴切示諭番官 並密示 派出委員等 嚴爲防範曉以大義不准番民聽惑謠言暗中助■以收川藏協力之效果據岡上及委員等先後來禀均稱巴匪遣人致信江卡等處以保黃教爲詞煽亂勾結幸番官力斥其非拒絕不從等語故雖全台震動而藏境則鎭靜不驚帖然無事者此皆仰賴

朝廷威福綏靖遐荒亦漢番各官力顧大局不避艱險所致刻下巴塘既巳克復自應及時撤防但漢番各員雖非破敵衝鋒然而戰守同功該員等或疲於奔馳風餐露宿或開導番衆舌敝唇焦最著辛勞洵屬異常出力似應分別奬勵所有尤爲出力其次各員謹繕清單恭呈 御覽漢番不過十數均皆核實未敢冒濫合無仰懇 天恩俯念西藏地處極邊漢員等更屬從公萬里且値此時事孔棘交涉日繁尤須驅策群力惟祈 予以奬叙用示鼓勵俾各員益知感激奮興不至視爲畏途以後藏臣辦事收效可期實荷 鴻慈逾格其千總以下照章咨部核奬除將擬保各員履歷造册咨部外所有巴塘現巳克復請將派赴要隘在事出力員弁量予奬叙緣由理合恭摺具陳伏乞 皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏奉 硃批該衙門議奏單片併發欽此

倫敦電報

●英皇藩觀劇於歌舞伎座

英國皇藩孔洛多親王昨晚在歌舞伎座觀劇男爵澁澤君起陳歡迎之辭親王答以感謝之意且云日英國交日形輯睦不啻唇齒輔車之相依實兩國之至幸亦世界之至幸也兩情頗極歡洽云

●電飭督〇防制匪徒

日前日政府致忠言於中國政府云必防壓排外氣勢勿令外國再啓事端刻政府已電飭各省督撫防制匪徒於未發之前不可稍有疏失云

●達帥派員資助中俄協商

中俄兩國對於滿洲善後事宜現正在磋商中吉林將軍達馨帥欲申明東三省中俄交涉事宜於政府以便磋商特簡派富順道台晋京具陳其情形云

（以上西二月二十六日到）

中外要聞

●贖還地基　日前俄公使璞科第氏請外部令堂憲至交民巷六國飯店會議事件聞可靠消息璞使對各堂稱說黑龍江吉林伊犂新疆庫倫科布多烏里雅蘇台等處均有俄國所買地基貴國如願贖還限以三月將銀地兩交逾限均爲罷論外部各堂憲昨商於慶邸請早與俄人開議庶有挽回之策云

●法使自陳無助俄人事　法國公使至外部會晤謂中國與俄國交涉繁多俄法雖有交誼法國遵守公法決無帮助俄人之理云云又言貴部照稱新疆巡撫電告法人助俄强行交易等語本大臣業經去電詰問果有此事即將該兵撤退云云

●整理壚務　政府奏准嗣後兩淮行運楚鹽諭飭壚官于每年會同江蘇湖廣督撫查明該地方年歲豐歉酌定貴賤應飭官商運銷畢竣造册送交戸部存案以省駁詰其行運江西引鹽援案一例辦理又政府諭飭各省督撫等官省方所至廣沛恩膏茲因兩商衆踴躍急公業巳加恩優奬更念其運綱讌課接濟民食郵商斯足以惠民特再沛殊恩著將兩淮綱壚食壚于定額外每引賞加十斤不在原定成本之例內俾得永遠沾受實恩富体朝廷博愛敦本之至意云云

●稽查洋葯税　近來各處傳聞洋葯欲歸官辦以致各奸商私運者甚多昨聞京師崇文門堂委員諭飭各口內收税之員所收十葯税款不甚暢旺核計每年正額有虧自監督涖任以來悉心考查密訪疑于各門税務有賄縱偸漏等情聞已派員調査税薄並派委實力稽查以期税有起色云云

●兩宮垂詢學務　聞日前內廷消息 皇太后召見某樞臣奏對之時詢及文武各學堂須飭認眞訓練以期振興學務得收人才之實效其水陸各軍更爲要務尤當隨時督練速成勁旅毋負委任

雜報

●觀劇格鬥　本埠茶園觀劇凡包箱壹間手票陸元任包主同人多寡自便外人不得溷入箱座前宵闈水發茶園有一包箱李姓者携同女眷姿容少艾適遇甲乙二無賴子瞥見遂動風情强入該箱座肆狂因而李與決裂格鬥致將吊燈觸落溢油滿地延火烈燃竟將座橙焚焰飛騰即時止劇衆等鼎沸幸有第七派遣所巡捕長巡役等到場將火撲滅幷執甲乙等送交衙署懲責云

●賭博格鬥　昨聞埠民云本埠第七區居民有季武魁徐樂三者二人素爲契交幾同傾心刎頸詎於前宵因場聚賭只爲爭注決裂鑿要操戈經衆解散各自歸家既而徐率數人執械尋季格鬥而季操杖出迎被助徐者某甲手持鐵鍬劈季頭裂血湧如注幸被衆等救護援季歸室調養未悉若何而季妻鳴狀日官已將徐等拘於衙署懲辦云云

●匪兵挾衆兇横　昨聞新民屯來人云該郡張作霖統領先前所募之營隊概多匪前任曾子固涖治時政令森嚴該營隊等多爲靖肅刻下該營隊等仍挾衆肆狂兇橫無忌凡於妓館淫宿茶園觀劇不但一錢不予而稍有逢迎不逮則搖砸物具狠藉不堪以致現下該郡竟無妓館茶園云云

●閉業東主甘認償債　昨聞埠商傳云本埠已歇業商有廣增仁號實因其有一執事孟某居心叵測設謀傾人其於客冬會收西邦協盛乾滙上銀七萬兩即將此項收換手票九萬餘元如數運出私行携遁一去不返迄無影响竟致廣增仁歇業云云今正該號東主來埠遍向所負債主言曰雖被舖夥誆傾歇業但求諸債主緩期容限必爲如數淸償云云

叢談

●拚命　自流血維新之説出世益以俄羅斯虛無黨之風聲激刺於耳鼓中國志士乃稍稍有輕生尙氣犧牲性命以爲公益者兩年來巳迭見矣然犧牲性命能實行者固有之而以爲口頭禪者亦復不少不料志士之口頭禪近山竟輸入於官場如某大吏對人言謂吾與某某拚命與某某拚命所與拚命者凡三人之多説者謂該大吏眞不愧爲水滸傳之拚命三郎矣或曰拚命三郎不過一擄人勒索之强盜安能與志士比例哉

●擡槓　官場之口頭禪凡彼此爭辯謂之擡槓即新名詞之所謂衝突也去臘廣東官紳在廣濟醫院抬槓惹起風潮其夜番禺柴令遂將黎紳國廉擡槓而去次日全省紳商大集會議電京力爭是紳商與岑督擡槓既而廣東京官聯名叅劾是京官又與岑督擡槓繼而將軍以此事詰責岑督彼此均燒臺砲將軍又與岑督擡槓頃聞外埠華僑及東京學生亦紛紛電京則華僑與學生又將與岑督抬槓以此推之不知擡至何時乃了說者謂凡諸擡皆由柴令擡扛黎紳而去所致欲籌挽救之術惟有令柴令自行擡扛黎紳回家則擡槓之風潮可以冰銷瓦解或曰擡槓黎紳回家柴令必不肯爲不見彼巳告假擡夾萬往旅順載十餘萬之巨欵矣或者收得此十餘萬則擡槓之風潮可以息刻未可知試觀其後

NEWCHWANG, TUESDAY, FEB. 27, 1906.

Mr. and Mrs. C. C. Clarke returned home from Tientsin last Sunday evening.

Mr. H. A. Bush accompanied by his brother Mr. C. G. Bush departed yesterday morning for Shanghai via Chinwangtao, where a steamerr is reported to put out on the 28th. Mr. Bush expects to come back about the 20th, prox., to preside over the general meeting of the Newchwang Chamber of Commerce.

Mr. and Mrs. Gleason returned to the port from a visit to Peking and Tientsin last Friday and are guests at the American Consulate-General. Mr. Gleason intends to leave for a tour of Liaoyang and Mukden in a few days, before going back to Tairen to resume his Y. M. C. A. work there.

The wedding reception following the solemnization of the union of Miss Katherine McIntyre and Mr. W. O. Leitch at Rev. Carson's chapel by Rev. Dr. Ross asisted by Revs. Webster and Hunter, will be held at Mr. Edgar's, instead of at Mrs. Fulford's, as previously noticed in our column. We are informed also that, after the reception is over at 5 p.m., the newly wedded couple will drive down to the West Customs and, crossing the river, will take possession of Mr. Cox's residence for the night to take the next morning's train on a honeymoon trip for a point which is said to be kept a guarded secret between themselves.

Curiosity with an eye to practical good attracted a large representative crowd of cosmopolitan character around a wooden frame 6 ft. by 6 and 14 ft. high with one side open and slanting roof on the top, which was stood in the empty ground in front of the Japanese Consulate. The frame had a good coat of tar on both inside and outside and old newspapers were pinned over the lower half of the inside. A can of kerosene oil was found near by evidently to feed flames with. Such were the preparations made for the demonstration with the Star fire-extinguishers yesterday at 12.30 p.m. A mild stir was in the air which was not at all too chilly and a good number of fair Newchwangers were noticed in the gathering. The inside of the frame was first well saturated with oil before Mr. Baring, the travelling agent for the Star Fire Appliance Co., applied a match to the papers. In a twinkling, the frame turned into a mass of flames and the intense heat drove back the crowd some 10 yards. Mr. Baring rushed forward to throw with vehemence a tubeful of extinguisher over the flames which completely died out at its magic touch. All this neat work took him only half a minute, but a cry arose for a second trial. The obliging agent soon set the frame with the liberal use of oil on a more violent crackling blaze. At a signal from th eon-lookers, he repeated the operation with equally successfully results. The spectators were quite satisfied of the merit of the chemical composition which is found to be of greyish brown in colour and is represented to have been invited by Prof. Harlem of America 8 years ago. For putting out an outbreak of fire in its incipient stage, this efficacious extinguisher will come in very handy with the advantage of saving the damage a liquid is sure to inflict. Mr. Baring was favoured on the spot with a large order by Mr. Nakamura of the Yokohama Specie Bank who happened to be in the interested crowd. He intends to leave for Europe shortly via Siberia. We learn that Messrs. Bush Bros. will act as the sole Newchwang agents for the American firm.

Tde latest Tokyo intelligengence advises us that the Peking Government has instructed the governors of all the provinces by wire to stamp out any anti-foreign movements within their jurisdictions, adding that they shall be held responsible for incompetency in the task. The first N.Y.K. steamer for Taku this year sailed from Yokohama on the 24th. inst. Lt.-Col. Yokura arrived safe at his home in Tokyo yesterday afternoon.

Another slight general advance is noticed in yesterday's rates of exchange.

EXCHANGE QUOTATIONS—(Feb. 26, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	100½	LONDON	Bank T.T.	2/- 7/16
	„ Dem'd	100¾		„ De'd	2/- ½
	P'ate 15 d/s.	101¼		Cr. 4 m/s.	2/1-
SHANGHAI	Bank T.T.	70¾	AMERICA	Bank T.T.	49¾
	„ Dem'd	71		„ Dem'd	50
	P'ate 15 d/s.	72		Cr. 4 m/s.	51¼
TIENTSIN	Bank T.T.	102½	Bar silver	- - -	30 11/16
	„ Dem'd	102¼			
	P'ate 10d/s.	101¼			

爲替相場（二月廿六日）
日本向　一百圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百〇二圓二十五錢（百弗に付）
芝罘向　天津向ト仝

日本品最近物價表　石原商店
一 箱ボイル　三十入　銀八圓
一 フキ同　同　同五圓五十錢
一 福神漬　四打入　同三圓
一 上白米　石　同廿二個八十錢
一 美濃紙　一同　同六圓八十錢
一 大手帳　一打　同一圓
一 スコッチ靴足袋　一打　同四圓五十錢
一 洗濯石鹸　二十本入一函　同三圓
一 同並　二十五本入一函　同一圓八十錢
一 毛シャツ上下　打　銀二十五圓より六十圓迄
一 白メリヤス上下　打　同八圓より十三圓迄
一 首輪　打　同二圓
一 毛糸首巻　丁　仝三圓五十錢より九圓迄

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號
旅館　第二營口ホテル　河岸通り
料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主 粕屋忠兵衛
料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎
旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉
料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上東四郎
旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三軒
料理　沖の島　永世街百六十五號　店主 中川彌三郎
料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正身
旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二
旅館　大和館　永世街十一號　店主 前田九一郎
料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚静一
料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助
御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主 和田常松
東京御膳　生そば一式　元神廟　東庵（電話百五十九）
旅館　金城ホテル　永世街百六十六號
料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎
料理　醉花園
旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉
料理　喜樂亭　營口元神廟街

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎
營口軍政署御用旅館　東雲　主任 谷口今朝太郎
さるそば 第一更科　さるそば 第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角
御料理　柳亭　叮嚀專一　豊濟門街二三　店主 玉岡条人
御料理並ニ温泉　一力　營口永世街　店主 堀万助
和洋料理　松月亭　本店 營口元神廟街一四三号
和洋料理御旅館　支店 滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　營口ホテル支店　主任 井上源吉
御料理會席　東水館　主任 朝枝圖
旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉
旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基
御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟
御料理色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎
旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎
會席　玉家　御料理　主任 西野治三郎
御料理會席　來々亭　主任 石田清

撫順炭大販賣　多少に不拘御用命被仰付度願上候　金城館販賣部
特別室落成　營口金城ホテル旅館部
藝妓仲居新來　金城館料理部
奉天小西門外　會席御料理　高等御旅館　金城館

旅館 **富喜樓**
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余　南大街　樓主敬白

御旅館 **豐陽館**　上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱　歐米滊船乗船取扱　館主 米田藤吉

西海洋服店　歐米各國最新流行形
永世街一四一（東興祥三軒目）（電話百二十七號）

お料理 **満月**　満月支店　店主

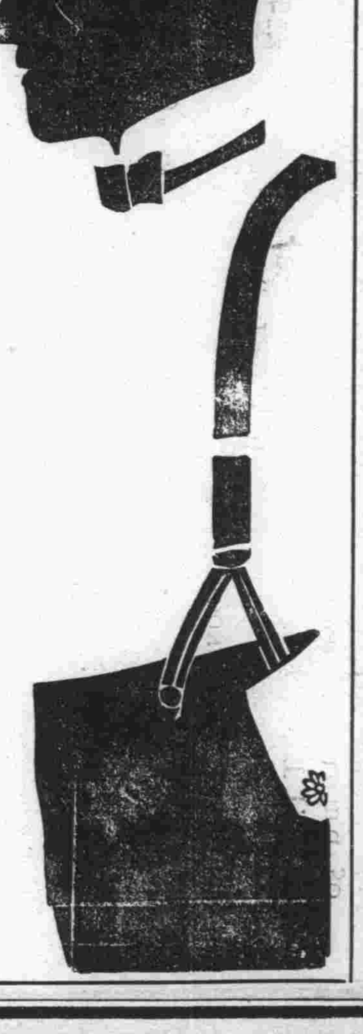
森病院
一 診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一 往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄　姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大塚しげ子）
院主 森　醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

和洋御料理會席
一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に藝附且又會費等は特に割引大勉强仕候間御光來被成下度候
二 奉天支店も本店同様に大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）
各位様

東營口郵便局東隣　島田洋服店
新民屯停車場前　同支店

御料理旅館　勉強館　奉天小西關外北長發園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相惟度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、紙入、蒔繪紙入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模様、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、
春模様新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
柏來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
營口 **加藤洋行**（電話八十番）

發賣　材木 料子 棟板
塩川商會　清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峰吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 鹽川商會

外に
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也　建築

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
○板材木　○木炭
○亞鉛板　○洋釘
○干鱈魚　○石灰
喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

大連 **東洋ホテル**　大連鐵道傍　露附近民政署前兒玉町

御旅館　天津 **芙蓉館**　駐屯軍御用　並西洋料理（電話四十一番）

北京 **扶桑旅館**　東單牌樓大街路西　客室清潔料理鮮新

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙